

## 令和 5 (2023) 年度の取組状況について (道事業) ※ 3 月末時点予算額

総事業費 : 5,462 千円 (3 月末時点)

日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業【予算額 : 4,492 千円】※負担金除く

- 教育旅行誘致資材作成 (新規) 【事業費 : 2,248 千円】
  - ・ 道内小中学校向けの教育旅行誘致パンフレットの作成
- 出前講座 (継続) 【事業費 : 100 千円】
  - ・ 道内小中高、市民団体等への講師派遣
- 地域プロモーション (継続) 【事業費 : 2,144 千円】
  - ・ JR 北海道との連携による周遊キャンペーンの実施
  - ・ 日本遺産フェスへの参加
  - ・ ノベルティの制作
  - ・ パンフレット増刷

地域創生推進事業【予算額 : 357 千円】

- 教職員向け研修会 (継続) 【事業費 : 357 千円】
  - ・ 夕張市石炭博物館及びシューパロダムでの教職員向け研修会・意見交換会の実施

日本遺産「炭鉄港」食文化普及啓発事業【予算額 : 613 千円】

- 炭鉄港めしフェスタの開催 (新規) 【事業費 : 613 千円】
  - ・ 岩見沢情熱フェスティバルでの炭鉄港めしフェスタ開催

事業名	教育旅行誘致資材作成
事業費	2,248,000円
<p><b>【目的】</b></p> <p>道内外で教育旅行を実施する学校向けに、新学習指導要領に適応したSDGsを学ぶ体験型のプログラムの造成及び教育旅行誘致の際に活用可能なPR資材を作成し、炭鉄港関連地域へ教育旅行を誘致する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>炭鉄港関連地域の先進事例、ニーズ及びコンテンツについて調査を実施し、調査結果等をもとに炭鉄港関連地域で教育旅行を実施する学校向けにSDGsを学ぶ体験型のプログラムを造成するとともに、プログラムの管理運営体制を構築し、教育旅行の誘致ツールとして、造成したプログラムを旅行会社及び学校等へセールスするためのパンフレットを制作する。</p> <p>1 基礎調査</p> <p>道内外の中学校及び高等学校を主なターゲットとしたプログラムを造成するために、以下の項目について他都市先進事例調査、ニーズ調査及びコンテンツ調査を実施し、調査結果を分析・整理・提示する。</p> <p>2 プログラム造成</p> <p>1の調査結果等をもとに、道内外で教育旅行を実施する学校向けにプログラムを造成する。</p> <p>3 体制の構築</p> <p>造成したプログラムについて、スキームを構築する。</p> <p>4 パンフレットの制作</p> <p>教育旅行の誘致ツールとして、造成したプログラムを旅行会社及び学校等へセールスするための、パンフレットを制作する。</p> <p><b>【実施結果】</b></p> <p>教育旅行の誘致ツールとして、造成したプログラムを旅行会社及び学校等へセールスするためのA4版パンフレット5,500部を制作した。</p>	
事業名	出前講座
事業費	100,000円
<p><b>【目的】</b></p> <p>北海道の近代化を担った「炭鉄港」について、地域住民への理解を深め普及を促進し、誇りと愛着を育むことを目的とし、学校や市民講座等へ講師を派遣する出前講座を実施する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <p>道内市町村で開催される「炭鉄港」をテーマにした学校での授業や、市民講座、勉強会などを開催する個人及び団体に対し、振興局が調整し講師を派遣する。</p> <p>① 岩見沢市立第一小学校 R5.6.13(火)</p> <p>② 岩見沢市立清園中学校 R5.7.4(火)、R5.7.10(月)</p> <p>③ 北海道夕張高等学校 R5.7.18(火)</p> <p>④ 滝川市立明苑中学校 R5.10.17(火)、R5.10.18(水)</p> <p>⑤ 奈井江町立奈井江中学校 R5.10.18(金)</p> <p>⑥ 芦別女性大学(芦別市教育委員会) R6.1.12(金)</p>	

### 【実施結果】

- ① 岩見沢市立第一小学校
  - ・日 程：R5. 6. 13(火)
  - ・場 所：炭鉱の記憶マネジメントセンター、朝日駅舎
  - ・受講者：5年生 60名
- ② 岩見沢市立清園中学校
  - ・日 程：R5. 7. 4(火)、R5. 7. 10(月)
  - ・場 所：岩見沢市立清園中学校、岩見沢駅、岩見沢レールセンター、炭鉱の記憶マネジメントセンター
  - ・受講者：1学年 51名
- ③ 北海道夕張高等学校
  - ・日 程：R5. 7. 18(火)
  - ・場 所：北海道夕張高等学校
  - ・受講者：1学年 約20名
- ④ 滝川市立明苑中学校
  - ・日 程：R5. 10. 17(火)、R5. 10. 18(水)
  - ・場 所：滝川市立明苑中学校
  - ・受講者：3年生 118名
- ⑤ 奈井江町立奈井江中学校
  - ・日 程：R5. 10. 18(金)
  - ・場 所：悲別駅、悲別ロマン座、赤平炭鉱遺産ガイダンス施設、歌志内郷土史料館「ゆめつむぎ」、奈井江町立奈井江中学校等
  - ・受講者：1学年 37名
- ⑥ 芦別女性大学（芦別市教育委員会）
  - ・日 程：R6. 1. 12(金)
  - ・場 所：市民会館中ホール
  - ・受講者：芦別市女性大学受講生

事業名	地域プロモーション
-----	-----------

事業費	2,144,000円
-----	------------

### 【目 的】

炭鉄港の更なる普及を図るため、JR北海道主催イベント「JRヘルシーウォーキング2023」と連携した周遊キャンペーンを実施し、道内外の交流人口の拡大を図る。

また、日本遺産に認定されている各地域の団体が一堂に会し、全国の日本遺産の魅力を一体となって発信するとともに、認定地域相互の交流を図り、日本遺産の一層の発展を目指す。

### 【事業内容】

- 1 JR北海道との連携による周遊キャンペーンの実施
- 2 ノベルティの制作
- 3 パンフレット増刷

## 【実施結果】

### 1 JR 北海道との連携による周遊キャンペーンの実施

#### ① イベントウォークにあわせて炭鉄港 PR ブースを設置し、石炭重さ当てやパンフレット等を配布

- ・令和 5 年 5 月 28 日(日) 室蘭ウォーク (室蘭駅構内) 来場者：約 200 名
- ・令和 5 年 9 月 9 日(土) 追分ウォーク (道の駅あびら構内) 来場者：約 60 名
- ・令和 5 年 9 月 17 日(日) 追分ウォーク (岩見沢駅前) 来場者：約 50 名
- ・令和 5 年 11 月 12 日(日) 追分ウォーク (小樽駅構内) 来場者：約 360 名

#### ② 炭鉄港コラボ企画の実施

- (1) 炭鉄港スタンプラリー 応募総数：168 名
- (2) 炭鉄港謎解き 応募総数：延べ 123 件
- (3) 炭鉄港キーワード集め 応募総数：延べ 10 件

### 2 ノベルティの制作

- ・炭鉄港防災ボトル 50 個、炭鉄港タオル 500 枚を新規制作
- ・炭鉄港缶バッジ、炭鉄港シールを増産

### 3 パンフレット増刷

- ・炭鉄港めし食べ歩きガイドブック、炭鉄港ガイドマップを増刷

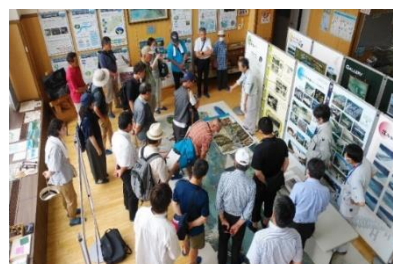
事業名	教職員向け研修会
事業費	357,000 円

## 【目 的】

- 炭鉄港を学校教育の現場で活用することで、シビックプライドの醸成を図る。
- 炭鉄港を活用した授業の進め方を共有し、学校での炭鉄港学習につなげる。
- 教育素材としての炭鉄港の価値を教職員に理解してもらい関連施設を校外学習（施設見学）等のコースに組み込んだ教育旅行の誘致につなげる。
- 炭鉄港を組み込んだ具体的な教育旅行のプランを提示し、教育旅行の誘致につなげる。

## 【事業内容】

炭鉄港の構成文化財等の施設を実際に巡ることにより、学校教育の校外学習（施設見学）の題材としての活用・普及が促進されるよう、教職員を対象とした研修ツアーを実施する。

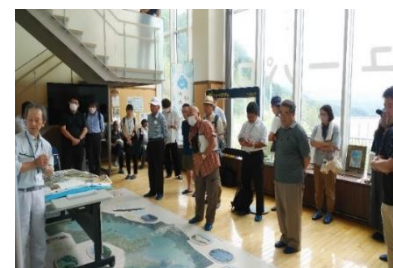


## 【実施結果】

- ・日時：R5. 8. 10(木) 10:10～16:00
- ・参加者：24 名
- ・研修場所：夕張シューパロダム、夕張市石炭博物館

#### ① 夕張シューパロダム見学

インフラツーリズムの促進を図る北海道開発局と連携し、教育旅行の誘致を検討した。



② 夕張市石炭博物館見学

石川館長のガイドのもと施設内の見学を行った。

○ 意見交換会

(1) 教育の場での炭鉄港の活用事例紹介

講師：鹿糠 昌弘 氏（美唄中学校教頭）

(2) 教育旅行プラン紹介

講師：嶋田 浩彦 氏（シービーツアーズカンパニー）

事業名 炭鉄港めしフェスタの開催

事業費 613,000 円

【目 的】

日本遺産「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、より多くの人たちにファンになってもらうことを目的として、各地で働いた労働者に愛され、栄養源として労働者を支えた「炭鉄港めし」という当時の食文化を体験できるイベントを開催し、普及啓発・情報発信に繋げる。

【事業内容】

- 1 炭鉄港めしイベントの開催、出展
- 2 イベントに使用する広告資材の制作

【実施結果】

- 1 炭鉄港めしイベントの開催、出展  
出展イベント：いわみざわ情熱フェスティバル
  - ・ 開催日時：R5.9.16（土）～17（日）
  - ・ 開催場所：駅東市民広場公園・イベントホール赤れんが
  - ・ 出展者数：5 事業者
- 2 イベントに使用する広告資材の制作  
受託者：株式会社イーストデイリー

